

# 第2回「読んでみて！YAイラストコンテスト」 開催レポート

2019年、静岡市立中央図書館では第2回「読んでみて！YAイラストコンテスト」を開催しました。このコンテストは、市内のYA世代である中高生の皆様に読んだ本をイメージしたオリジナルイラストを描いていただき、それを見た人にいかに読んでみたいと思わせるかを競うイベントです。

2回目となる今回の応募は42点。10校の中学校・高等学校が参加してくれました！その中から静岡市立図書館員が「もっとも読んでみたい」と思った作品を投票で選出し、もっとも投票の多かった作品を大賞の【図書館賞】として表彰いたしました。



(中央図書館での展示の様子)



(清水中央図書館での展示の様子)

2019年10月～12月の間に中央図書館、清水中央図書館の2か所で巡回展示をしました。

今回は展示会場に訪れた方にもどの作品が読みたくなったかを投票してもらいました！こちらで一番投票数の多かった作品は【会場優秀賞】とさせていただきます。

また、第1回に引き続きゲスト審査員を務めて頂いた静岡市在住のイラストレーター・東京モノノケ先生にも、プロの目線からもっとも読んでみたいと思わせた作品を【特別審査員賞】として選んでいただきました。今回の応募作品も、本の内容や作風が多岐にわたり選出に迷ったとのことでした。

1月26日の表彰式では、各入選作品が発表されました！

## 👑【図書館賞】👑

☆とまと。さん『わたしはあなただったかもしれない』（著:大脇三千代）

投票コメント：人とチンパンジーの間に愛情を感じた/遠くからでも目を引く/真っ先に目についた/惹き込まれるタッチだった/絵の力が素晴らしいです/物語をきれいに切り取っている etc.

## 👑【会場優秀賞】👑

☆白夢界さん『ペルソナの鎖』（著:北國浩二）

投票コメント：雰囲気がとても魅力的/見ていると背中がゾクゾクしてくる/構図が凝っていて作品の雰囲気に合っている/映画のポスターのよう/どうなったのだろうと思わせる説明文に読んでみたくなった etc.

# 第2回「読んでみて！YAイラストコンテスト」 開催レポート

## 👑【特別審査員賞】👑

☆親方さん『ランチのアッコちゃん』（著:柚木麻子）

東京モノノケ先生のコメント：見ただけで元気が出るような女性の表情は、この作品のコンセプトにも合っている。インパクトがある絵で白黒のバランスや色の入れ方も良く、本の表紙として店頭と並んだ時、目につきやすい絵だと思った。

入選者には賞状の他に、応募したイラストを表紙にした図書館オリジナルのブックカバーと、静岡市立図書館のマスコットキャラクターの“名もなきパンダ”の缶バッジを贈呈しました！自分の描いた絵が表紙になった気分を味わってもらえたかな？



（表彰式の様子）



（「もののけ屋」①巻の表紙のラフを見せながら説明をして下さった東京モノノケ先生）

また、当日は特別審査員の東京モノノケ先生に、普段どのように本の表紙をデザインされているのかを聞かせていただきました！

図書館でも人気の「もののけ屋」シリーズでは、巻ごとに登場するキャラクターの分け方や、裏表紙にも面白い仕掛けを施してあることに会場一同感嘆の声を溢してました。

今回のコンテストでたくさんの「読んでみたくなった！」という声をいただきました。読んだことのある本でも人それぞれ違ったイメージを思い浮かべているのがわかります。「この人はこんな風に思い浮かべたんだ…！」と自分の想像したイメージと比べてみるのも面白そうですね。きっとまた色々な本を“読んでみて”誰かに話したくなるはずですよ！